



DENSO

Crafting the Core

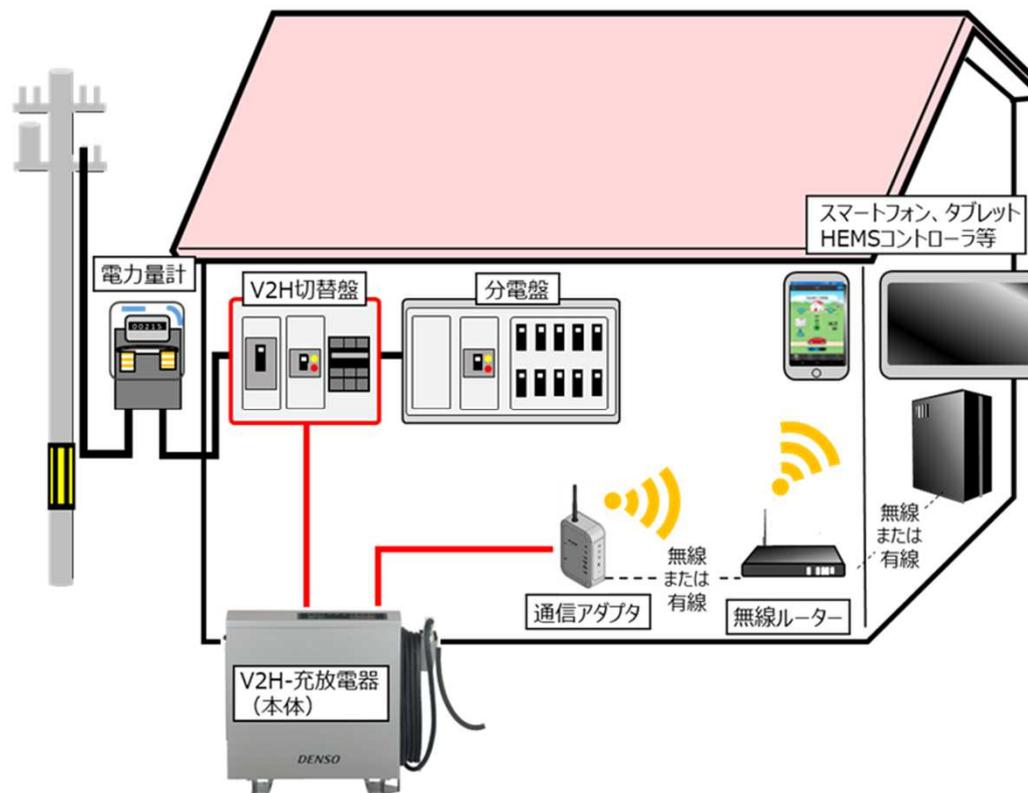
V2H-充放電器 先行工事用 参考資料

株式会社デンソーソリューション
Ver.1002

CONFIDENTIAL
関係者外秘

完成イメージ図

CONFIDENTIAL
関係者外秘



- 本体・・・屋外の車両近傍に設置します（基礎工事要）。※充放電コネクタケーブル7.5mが届く位置
- 切替盤・・・電力量計から分電盤までの幹線の経路上に設置します。屋内、屋外への設置が可能です。
- 通信アダプタ・・・スマートフォン等による遠隔操作の通信を行います。屋内、屋外への設置が可能です。
 - ・必要に応じて無線ルーターをお客様にてご用意ください。
 - ・通信アダプタ（有線タイプ）の場合は、無線ルーターと通信アダプタをLANケーブルで接続ください。

先行工事について

CONFIDENTIAL
関係者外秘

将来的にV2H－充放電器の設置を検討される場合、あらかじめ考慮いただく主なポイントは以下の3点です。

① 本体を設置できるスペースの確保

② 切替盤設置スペースの確保（フリーボックス 参考：BQEB484124）

V2Hは電力量計～分電盤の幹線経路上に切替開閉器を設置する仕様になっています。
物件の状況に応じて、屋内設置、屋外設置を選択して計画してください。

③ 先行配管の導入

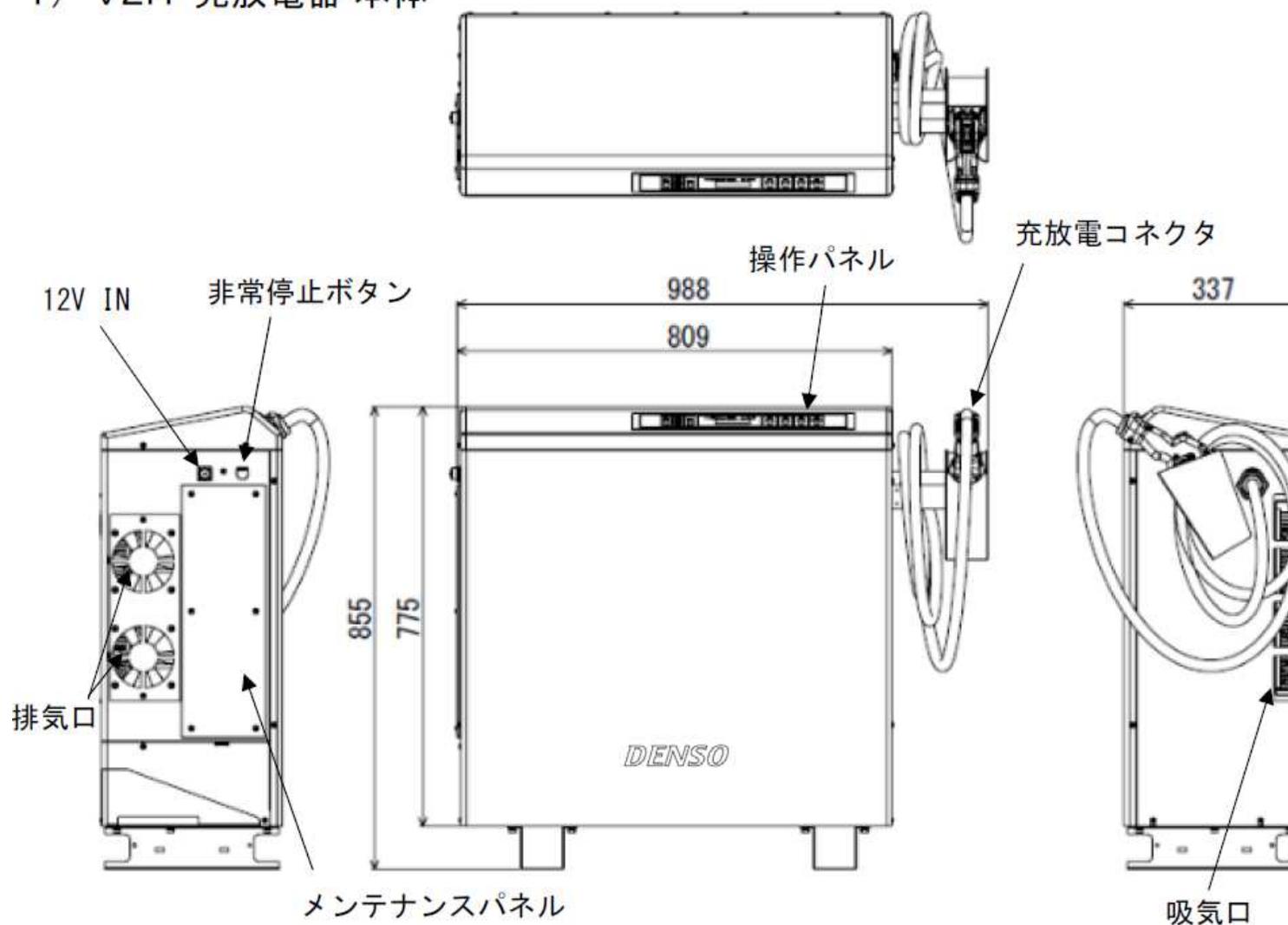
電力線用：V2H設置予定場所（駐車スペース側の外壁）～分電盤(切替BOX)：PF管Φ22×2本
通信線用：V2H設置予定場所～情報分電盤などBBルータ（通信アダプタ）設置場所
CT線用：V2H設置予定場所～分電盤（切替BOX）**上記通信線と共用**：PF管Φ22×1本
防水ジョイントBOX：外壁に上記先行配管の中継として設置（**V2H本体にはPFΦ22×3本で入線**）

【ご注意】

- 1) V2H本体からのCT線・通信線の最大長さは「50m」です。50m以内となるように各機器位置を決める必要があります。
- 2) V2Hの仕様変更等により、システム構成が変更になった場合は、先行工事の内容で対応ができない場合があります。

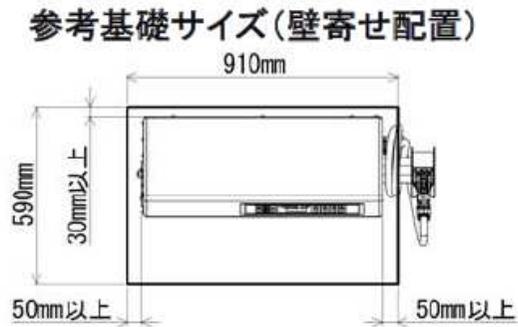
① 本体を設置できるスペースの確保

1) V2H-充電器 本体



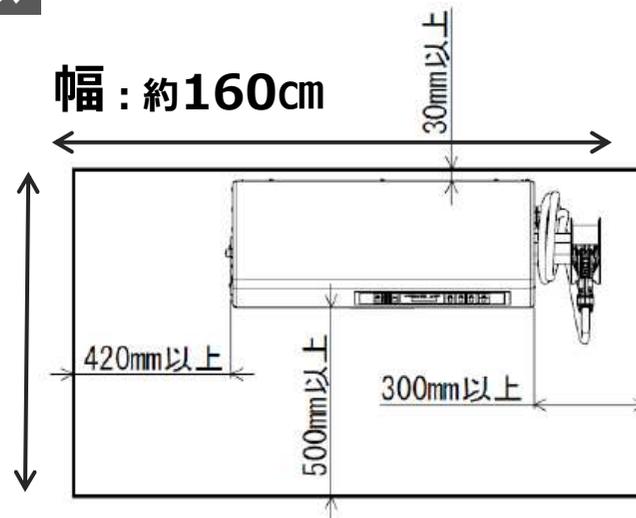
① 本体を設置できるスペースの確保

【基礎へのアンカー設置】

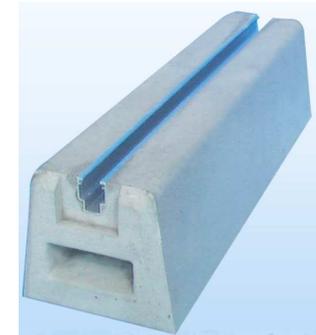
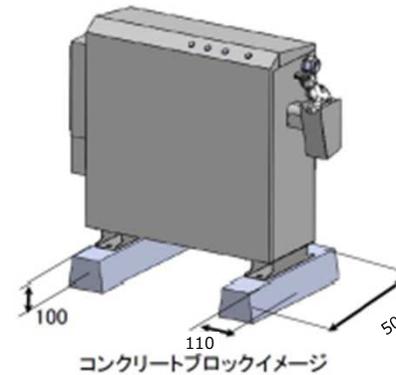


メンテナンススペース

奥行 : 約90cm



【コンクリートブロック】



推奨品

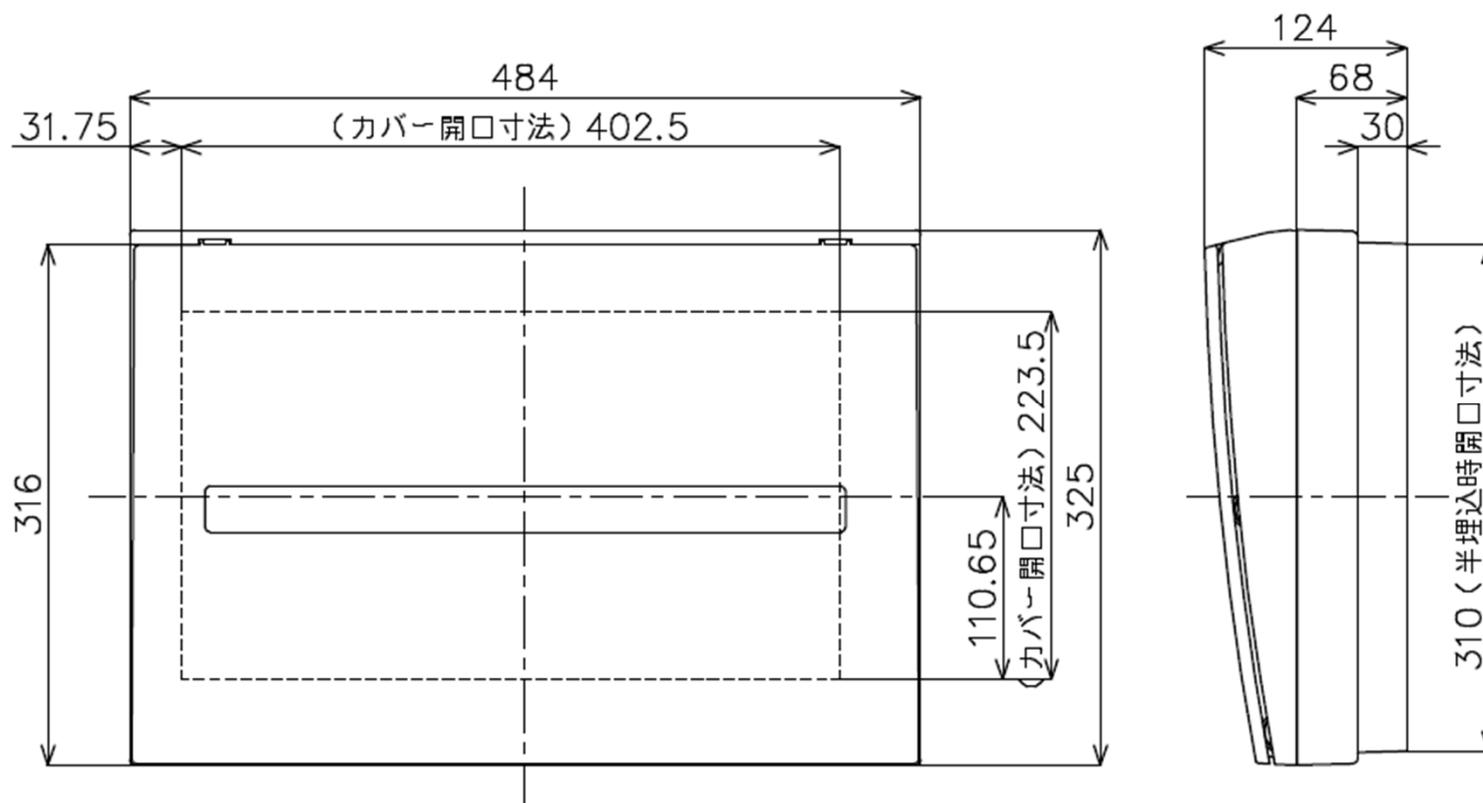
東洋ベース製 タイガーベース M10仕様
品番 : L500-100 2個 (通常生産品)

②分電盤と同じ内壁に切替BOX設置スペースの確保

(フリーボックス 参考：BQEB484124)

V2Hは、分電盤の一次側に切替器を設置する仕様になっています。
分電盤設置の壁面に切り替え器も設置できるようにスペースを確保する必要があります。

<参考 フリーボックス寸法>



③ 先行配管の導入

PF管 (φ22) が合計3本必要

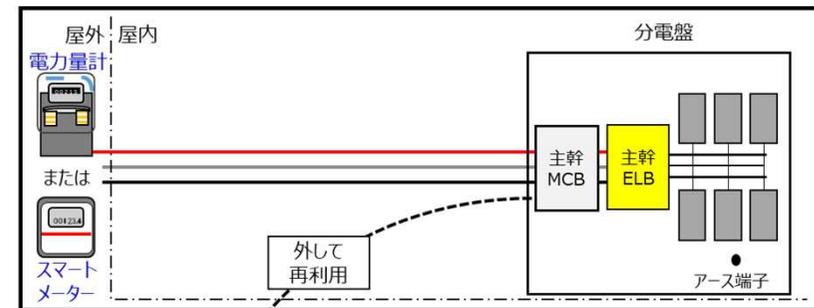
- 電力専用：V2H設置予定場所（駐車スペース側の外壁まで）～分電盤(切替BOX) × PFφ22×2本
- 通信線用：V2H設置予定場所～情報分電盤などBBルータ（通信アダプタ）設置場所
- CT線用：V2H設置予定場所～分電盤（切替BOX） × **PF管は上記通信線と共用：φ22×1本**
- 防水ジョイントBOX：外壁に上記先行配管の中継として設置（V2H本体にはPFφ22×3本で入線）

設置時には下記のような電気工事を実施する必要があります。

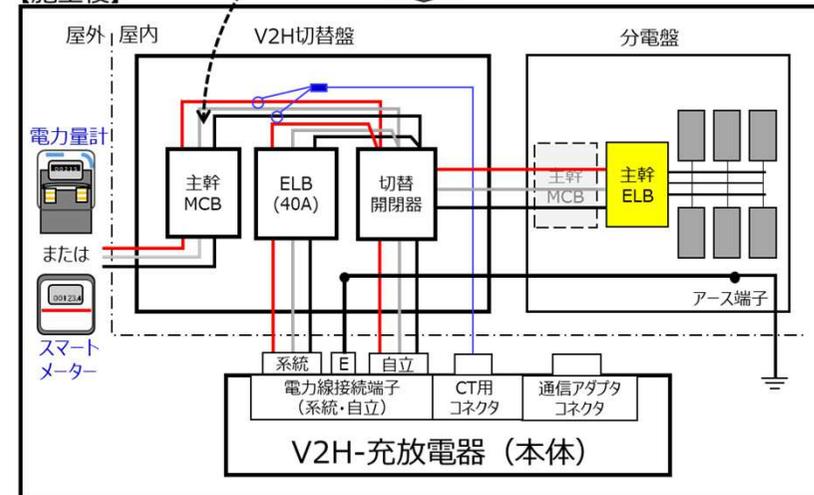
工事説明書より抜粋

- 電力契約が60Aを超える場合
＜分電盤の主幹ELBが100A以下の場合＞
 - 分電盤の主幹MCBを外してV2H切替盤の主幹MCBとして使用します
 - V2H主幹MCBが75A以上の場合はCTを別途調達する必要があります
 - 電線径は主幹MCBの容量に合わせて選定してください。

【施工前】

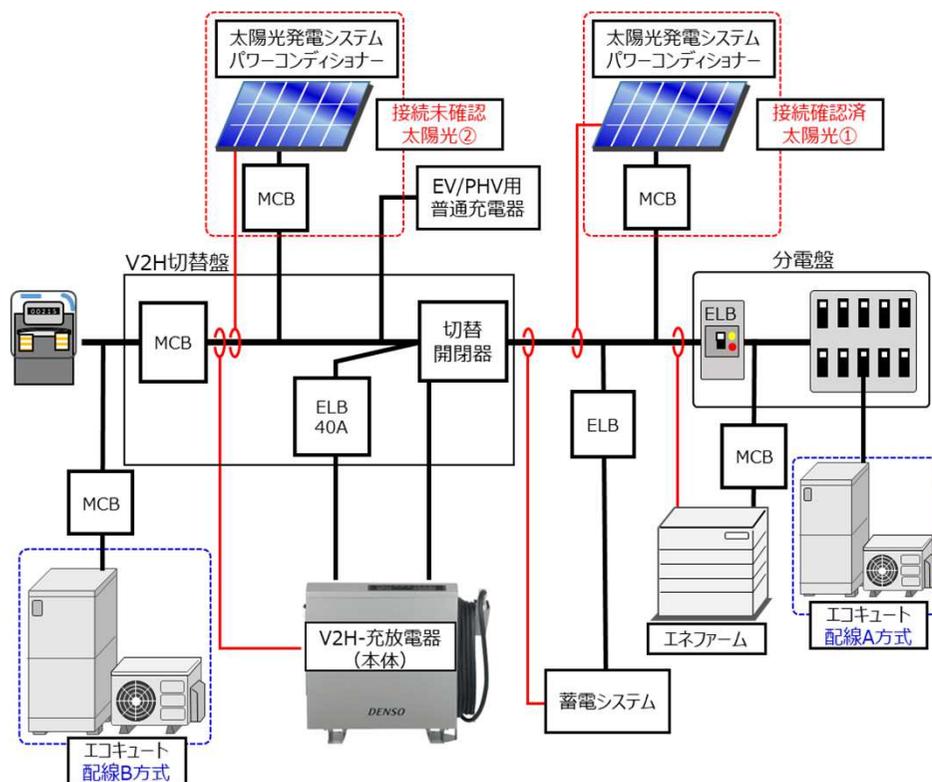


【施工後】



参考資料

CONFIDENTIAL
関係者外秘



- エコキュートの配線がB方式(※1)の場合、V2H-充電器の自立運転時(停電時)にエコキュートの運転はできません。
・タンクに残っている分のお湯は使えます。
- エコキュートの配線がA方式(※2)の場合、V2H-充電器の自立運転時(停電時)にエコキュートの消費電力によってはV2H-充電器(本体)が停止する場合があります。
※1 エコキュート配線B方式：契約ブレーカの一次側(V2H切替盤内の切替開閉器の一次側)からエコキュートの電源を配線する方式。
※2 エコキュート配線A方式：契約ブレーカの二次側(V2H切替盤内の切替開閉器の二次側)からエコキュートの電源を配線する方式。
- V2H-充電器(本体)と接続確認済太陽光①の場合、V2H切替盤内の切替開閉器の二次側から接続してください。
停電時の太陽光発電との自立運転連携(余剰電力を車両に充電)が可能です。
- V2H-充電器(本体)と接続未確認太陽光②の場合、V2H切替盤内の切替開閉器の一次側から接続してください。
この場合、停電時の太陽光で発電された電力は、太陽光の自立出力コンセントからの給電のみとなります。

参考資料 現地調達部材一覧

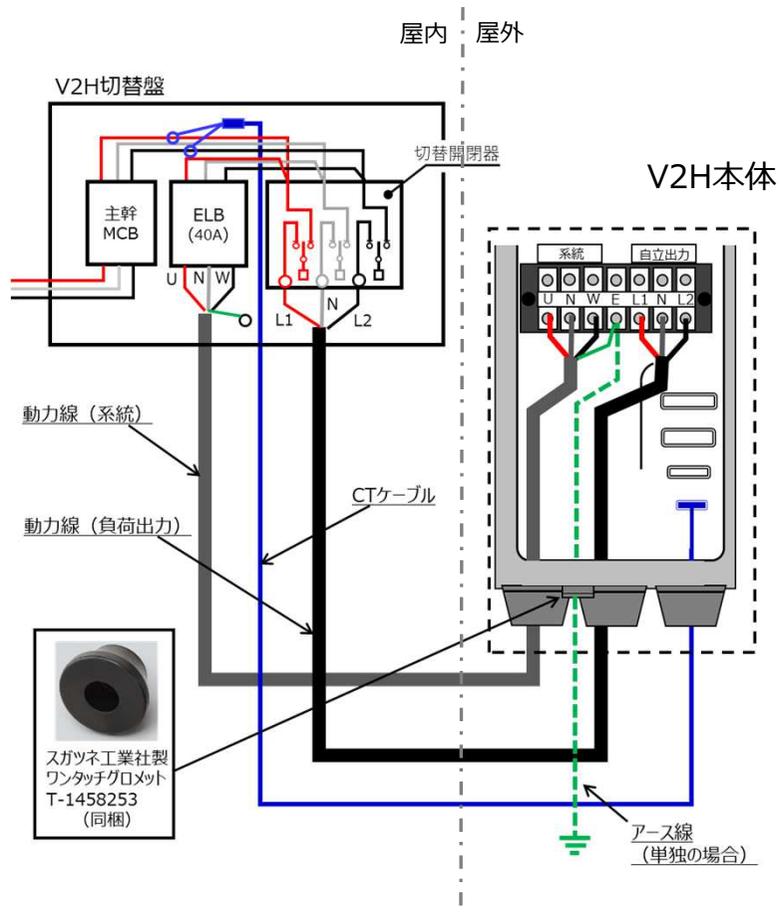
CONFIDENTIAL
関係者外秘

| 分類 | 品名 | 規格 | 推奨品 | 数量 |
|------------|-------------|---------------------------------------|---|----|
| 本体 据付 | アンカーボルト | M10(ナットセット) | サンコーテクノ社製「C-1090」 | 4 |
| | ばね座金 | M10 | SUS仕様 | 4 |
| | 平座金 | M10 | SUS仕様 | 4 |
| | 基礎 | 参考：W910×D540×H140mm以上 | | 1 |
| | コンクリートブロック | M10 | 東洋ベース社製 L500-100 | 2 |
| V2H 切替盤 | フリーボックス | 屋内設置の場合 | パナソニック社製 BQEB 484124 (W484×L325×D124) | 1 |
| | 鋼板製キャビネット | 屋外設置の場合 | パナソニック社製 BPB5520V (W500×L500×D200) | 1 |
| | MCB (ブレーカー) | MCB 3P100AF/75A or 60A (逆接続可能型) ※1 | | 1 |
| | ELB (ブレーカー) | ELB 3P 50AF/40AT (逆接続可能型) | | 1 |
| | 切替開閉器 | 3P60A～100A (現場環境にあわせる) | 日東工業社製 DS103 3P100A | 1 |
| | 配線・アース線 | 内線規程に準ずる | — | — |
| | 丸形圧着端子 | 内線規程に準ずる | — | — |
| | CTセンサ ※2 | 200A検知用 | マルチ計測器社製 CTセンサ:CTF-24 | 2 |
| 通信 アダプタ | ブラケット固定ビス | 取付穴φ3.5mm | 丸頭十字穴 木ねじ 呼び径3.1 長さ16mm | 4 |

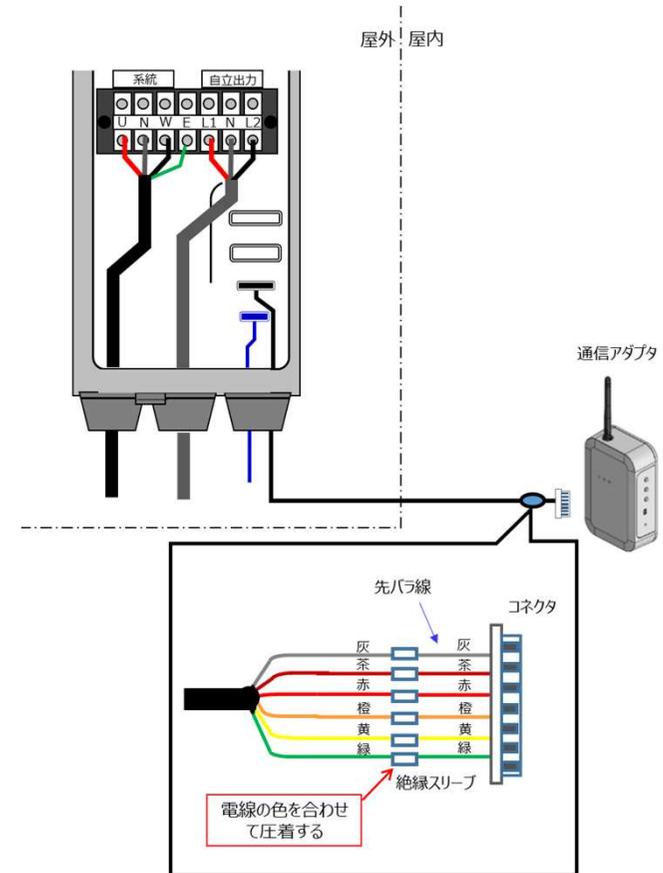
※1 契約電力に合わせて選定。

※2 クランプする電線径がφ14.5mmを超える場合のみ必要。

【切替盤～本体の接続】



【通信アダプタ～本体の接続】



※本体向かって左側下部にPF管の入れ込み口があります。